

令和2年度札幌市重点要望の要望結果

		要望項目	要望結果
産業・活力	1	北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の早期完成	○整備新幹線の国費分事業費について、2020年度当初予算で804億円が計上された。(対前年度比12億円増加)
	2	国道5号「創成川通」の機能強化の早期実現	○2020年3月に「地下整備案」を対応方針とすることで決定し、計画段階評価手続きが完了した。
	3	国際競争力の強化に向けた都市の魅力向上	○2020年3月に新千歳空港の発着枠を拡大(42回→50回)。 ○市街地再開発事業 2020年度配分予定額:1,635百万円(要望額の93.6%) ○都市・地域交通戦略推進事業(路面電車) 2020年度配分予定額:314百万円(要望額の94.0%)
	4	冬季オリンピック・パラリンピックの招致	○2020年1月のJOC理事会において、札幌市を2030年大会の国内候補地とすることに決定した。
	5	Society 5.0の実現に向けた支援策の拡充	●地方創生推進交付金において、「Society5.0タイプ」が新設された(5年間(最大)・3億円(単年度上限))。
暮らし・コミュニティ	6	子ども・子育て支援の充実・強化	●一時保護所職員の配置について、措置費における職員配置基準の改善や加算が創設されたほか、一時保護所整備に係る交付金の基礎単価が大幅に拡充されるなど、児童相談所の設置・運営に係る財政支援が充実された。
	7	多様な教育環境の整備	○小学校専科指導教員(英語)の加配定数の増(1,000人)や、障がいを持つ児童生徒への通級指導の充実等のための基礎定数の増(315人)が図られた。 ○2020年に「夜間中学新設準備・運営補助」が新設された。
	8	介護基盤の充実	○保険者機能強化推進交付金に加えて、2020年度に、介護予防・健康づくりの取組を重点的に評価する「介護保険保険者努力支援交付金」が新設された。
	9	地震被害からの復旧と防災対策の推進	●北本連系線について、2019年3月に90万kwに増強されたほか、更なる増強に向けた方向性が示された。
	10	国土強靱化に向けたまちづくり	○2019年度普通交付税の算定において、道路除排雪経費に係る算入額が87百万円増加した。
エネルギー転換 低炭素社会・	11	エネルギー需給構造の多様化	○2020年度予算において、水素ステーションの整備、FCVの導入支援等の施策について、700億円が計上された。(対前年度比98億円増)
	12	環境負荷低減に向けた取組の推進	○2021年度に大気汚染防止法の一部を改正する法律が施行され、建築物等の解体等工事において、アスベスト含有建材へ規制対象が拡大されるなど、アスベスト飛散防止対策が強化される予定となっている。

※ 「●」 要望結果に基づき、令和3年度札幌市重点要望の項目から外したものを。